

令和4年度 第3回刈谷市スマートシティ推進協議会 議事録

- 日時：2023年3月24日（金）14時00分～15時00分
- 場所：刈谷市役所 401・402 会議室及び ZOOM
- 参加者：別紙のとおり
- 議事：

開会

- 挨拶（企画財政部長）
 - ・ 定刻となったため、第3回刈谷市スマートシティ推進協議会を開会する。
 - ・ 既に、報道等でご存じかと思われるが、国より、新型コロナウイルス感染症対策として、3月13日以降のマスク着用の考え方については、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねると示されている。本会議でも、着用は、会員の皆様のご判断に委ねる。
 - ・ 本日、会場の都合、あるいは人数の関係もあり、配席が教室形式の形となっている。会員の皆様方どうしのお顔が少し見えにくくなっているが、ご了承いただきたい。
 - ・ 以後は次第に沿って進める。まず、開会にあたって、刈谷市スマートシティ推進協議会の会長である市長の稲垣よりあいさつ申し上げる。
- 挨拶（会長）
 - ・ 年度末の忙しいところ参加いただき感謝申し上げます。
 - ・ 今年度10月に刈谷市スマートシティ推進協議会を立ち上げてから、およそ半年ほど活動を続けてきた。設立時から新たに2団体にメンバーとして加わっていただき、協議会の会員は合わせて18団体となった。協議会の運営・活動は皆様のご協力あってこそだと切に感じる。
 - ・ さて、本日は今年度最後の推進協議会、令和4年度の本市におけるスマートシティの取組の状況報告と、来年度の取組に向けた協議会の活動予定についてご説明する。
 - ・ 協議会の発足初年度である今年度は、いくつかの実証プロジェクトに取り組むとともに、本市の目指すスマートシティの方向性を定めた刈谷市スマートシティ構想を策定し、本市のスマートシティの大きなテーマとして「子どもの未来」と「将来への備え」を掲げている。
 - ・ このテーマに基づき、今後も皆様のお持ちの先端技術、お知恵をお借りしながら、取組をより一層力強く進め、地域の課題解決、市民生活の向上につながるスマートシティを皆様と共に実現してまいります。
 - ・ 協議会を始め本市のスマートシティの取組に引き続きご理解・ご協力を賜るようお願い申し上げ、あいさつとさせていただきます。
- 新規会員の紹介
 - ・ 新たに加わった2団体の方からご挨拶を頂戴したい。（企画財政部長）
 - 今回から参加させていただく。会員企業とのつながりを最も期待されていると認識している。色々な形で情報のやりとりで貢献していきたい。（刈谷市商工会議所）
 - 今回から皆様と一緒に取り組ませていただく。当社は建設コンサルタントで建設・土木を領域として

おり都市計画のメンバーで参画していく。ご協力できることがあればぜひお声がけいただきたい。（中央コンサルタンツ）

議題 1. 刈谷市スマートシティ構想の策定について

- 資料 1 「刈谷市スマートシティ構想策定部会最終報告書（案）について」（企画政策課長）
 - ・ 本日使用する資料は、ご登録されたメールアドレスあてに、事前にお送りした。紙資料は配付しないのでご了承ください。
 - ・ 昨年 11 月 24 日に書面開催した第 2 回刈谷市スマートシティ推進協議会で、会員のみなさまからの意見を反映した「刈谷市スマートシティ構想（案）」をお示した。
 - ・ 令和 4 年 12 月 15 日から令和 5 年 1 月 16 日までの 31 日間パブリックコメントを実施したが、意見はなし。
 - ・ 字句の整理に加え、構想の内容に影響がない範囲での修正を 2 点行った。
 - 用語解説に「刈谷市スマートシティ推進協議会」を追加しました。元々の構想案では「07 推進体制／エコシステム」のスマートシティ推進協議会の囲みの上に小さく記載していたが、わかりにくかったため、用語解説の方に移動し、該当のホームページアドレスを追記した。
 - 最終ページの左側に刈谷スマートシティのロゴマークを掲載しているが、この下にロゴマークの解説を追加した。
 - ・ 刈谷市議会の企画総務委員会で策定の報告をしたため、これで構想は完成となる。今後の予定としては、4 月 1 日号の市民だより及びホームページへ掲載し、構想を公表していく。

議題 1.に関する質疑応答

- 議題 1 の質疑応答について（企画財政部長）
 - ・ 特に質疑がないため、次の議題へ移る。（企画財政部長）

議題 2. 令和 4 年度活動報告について

- 資料 2 「令和 4 年度活動報告について」（企画政策課長）
 - ・ 活動報告の内容としては、2 点。1 点目は、推進協議会の会としての活動状況、2 点目は実証プロジェクトの進捗状況である。まず、推進協議会の活動状況から説明をさせていただく。
 - ・ 1 点目：刈谷市スマートシティ推進協議会の設立について
 - 刈谷スマートシティ研究会を母体として、昨年 10 月 4 日に、民間企業等との協働の下、ICT 等の先端技術を活用して持続可能なまちづくりを目指すスマートシティの取組を推進することを目的として「刈谷市スマートシティ推進協議会」を設立した。研究会から継続して参画いただいている会員企業等の皆様には、改めて御礼申し上げる。また、新たに会員になった企業の皆様も含め、今後とも本市のスマートシティの推進にご協力をお願いしたい。
 - 会員数は、設立時からさらに 2 団体増え、18 団体となった。設立時にご説明したとおり、当面は、広く会員の募集は行わず、実証プロジェクトの実施など、本市のスマートシティの推進に具体的に関わっていただける団体様にこちらからお声かけしてご入会いただくという形をとりたい。

- (3) 組織図のとおり、今後は、本市が課題を提示し、会員企業様から実証プロジェクトの提案を受ける「課題解決型実証」の仕組みを導入し、(4) 活動内容の4番目に記載のとおり、本市の課題の解決につながる実証の実施を中心に行う。
- (5) 構成員の役割は記載のとおり。

・ 2点目：令和4年度中に実施した実証プロジェクトについて

- 令和4年度中に「実施した」実証プロジェクトは5件
 - 1つ目の「インフラ協調システム（上期）のカメラ機器等動作実験」、3つ目の「デジタル技術を活用したイベント効果検証」、4つ目の「刈谷スマートウェルネスプロジェクト」については、第4回のスマートシティ研究会において説明したため、説明を割愛する。
 - なお、4つ目の「刈谷スマートウェルネスプロジェクト」は、愛知県のスマートシティモデル事業として採択いただいたもので、先週17日の事業報告会において成果報告した。報告資料は3月末を目途に市のホームページにも掲載する。
- まだ説明していない2件について、実施概要のスライドを使って簡単にご説明する。
 - インフラ協調システムを活用した交通安全の注意喚起手法を検討する実証実験
 - 1件目の「インフラ協調システム（下期）」の取組。上期の取組として、住吉町の交差点の電柱と電灯ポールに、移動体を検知するカメラとセンサを設置し、公共施設連絡バス「かりまる」2台に、移動体情報を検知した際にアラート等でバスの運転手に知らせるシステムの技術検証を行った。
 - 今年度下期の取組としては、車載器を搭載していない車両や自転車、歩行者にも危険を知らせるために、インフラセンサにスポット照明やデジタルサイネージを連動させて効果を検証する実証を3月13日から19日の7日間の間、実施した。
 - この実証の様子をケーブルテレビ・キャッチネットワークのニュース番組で取り上げていただきましたので、そのときの映像をご覧いただきたい。
 - 子どもの車内放置検知システムの実証実験
 - 次に、子どもの車内放置検知システムの実証実験です。幼稚園バスに園児が置き去りにされ死亡するという痛ましい事故を受け、この4月から送迎バスへの安全装置設置が義務付けられた。
 - その安全装置について、アイシンが自社のセンサ技術を用いて開発しており、実用化に向けて、実際の幼稚園バスで実証したいという希望があり、アイシンから依頼をいただき実現した「フィールド提供型実証」である。
 - このような「フィールド提供型実証」についても、積極的に実施していく。会員の皆様で実証実施のご要望があれば、ぜひ企画政策課までご相談いただきたい。担当課が不明なものや複数課にまたがる場合などの調整を企画政策課が行い、よりスムーズに実証の実施につなげられる。
 - 現在検討中の実証プロジェクト3件について
 - 1件目の「Jクレジット制度を活用した市内循環モデルの構築」であるが、こちらは「刈谷スマートシティ研究会」から継続検討を進めており、アイシンと東邦ガスと本市の環境推進課を中心に実施に向けた制度の立ち上げを行う段階。この4月から「かりやゼロカーボンバンク」を立ち上

げ、Jクレジット申請手続きを進めていく予定である。

- 2件目の「刈谷版子育て MaaS [KKMaaS]」につきましては、第4回の研究会でモビリティ分野の「MaaS によるシームレスな交通環境の整備」のアイデアとして検討を開始した。その後、10月にアイシンと中央コンサルタンツをメンバーに加えてワーキングチームを立ち上げ、令和5年度の経産省・新地域 MaaS 創出事業への応募に向けて、検討を継続中。
- 3件目の刈谷スマートウェルネスプロジェクト～第2弾は、今年度に引き続き、愛知県のスマートシティモデル事業の採択を目指して、健康づくりの分野での実証について、NTT コミュニケーションズを中心に検討を進めている。

・ 今後のスケジュール

- 本協議会は、原則として年3回の開催を予定している。毎年4月に当年度の活動計画の報告と課題解決課題実証の募集課題のプレゼンテーションを実施する。2回目は、6月下旬に、募集した実証プロジェクトの採択結果について報告を予定するが、こちらは書面開催とさせていただく予定。3回目は、3月末に当年度の活動報告と次年度に募集する課題解決型実証の課題を提示させていただく予定。令和5年度は、第1回は4月21日、第3回は令和6年3月26日に開催を予定している。

議題 2.に関する質疑応答

- 議題 2 の質疑応答について（企画財政部長）
 - ・ 22年3月から、交差点の安全確保の実証実験に参画させていただいた。実証にあたっては市に支援していただき、市長をはじめ多くの方に実証の現場に足を運んでいただいた。23年度もどんな形でお役に立てるのか、社内でも検討の上、並行して協議させていただきたい。インフラ協調以外でも協力できることがあれば議論させていただきたい。（デンソー）
 - ・ 弊社持込でフィールド提供実証にご協力いただいた。現状を報告すると、製品化に向けて国の認可を待っているところである。許可がおり次第、実際にこの製品をつけて園児の置き去り事故をなくしていきたい。引き続き色々なテーマで協力していきたい。（アイシン）
 - ・ スマートウェルネスプロジェクトに参加させていただいた。コロナ禍の中にあつたが、多くのご支援をいただき、実証の成果が出せた。スマートウェルネスプロジェクトの第2弾ということでお声掛けいただいている。検討の段階ではあるが、今後の普及を含め、本活動が更に発展していくことを期待する。引き続きよろしくお願ひしたい。（ジェイテクト）
 - ・ 旧 NTT ドコモの時に、刈谷駅周辺のイベント効果検証を実施した。ビックデータの活用という切り口で一歩踏み出せたと思っている。今後は、ヘルスケアデータの活用についても進めていきたい。今後ご協力をお願いしたい。（NTT コミュニケーションズ）
 - ・ スマートウェルネスプロジェクトにおいて、刈谷豊田総合病院様たちと実証を実施することができた。全国各地で色々な実証をしているが、実際の医療機関と実証するのは刈谷がはじめて。実証の予算を組んでいただいて実証をさせていただいているが、今後は実装に向けた取組に高めていきたいと思っているので、引き続きよろしくお願ひしたい。（NTT 西日本）
 - ・ 貴重なご意見ありがとうございました。今後の実証にいかしてまいりたい。（企画財政部長）

議題 3. 課題解決型実証プロジェクトの募集について

- 資料 3 「課題解決型実証プロジェクトの募集について」(企画政策課長)
 - ・ これまでの経緯
 - 本市の解決したい課題を提示し、ソリューションを提案いただくというプロセスを経て実施する「課題解決型実証」事業を実施していく旨を第 1 回の推進協議会で説明した。
 - その際には、4 月の推進協議会において本市の解決したい課題を提示すると説明をしていたが、3 月の推進協議会で課題の提示をし、4 月の推進協議会で担当課から課題のプレゼンテーションを実施するスケジュールに変更した。
 - ・ 課題解決型実証プロジェクト実施スキーム
 - 今回の課題解決型実証プロジェクトの実施スキームを図にあらわした。
 - ①課題募集… 1 月に実施し、今年度は 4 0 件集まった。②応募があったものの中から、いくつか課題を選定し(今年度は 5 件)、刈谷市スマートシティ推進協議会で④課題の提示を行う。
 - 推進協議会はそれを受けて、実証プロジェクトの募集を行う。
 - ⑥応募された実証プロジェクトについて、事務局で⑦審査(1 次:書類、2 次:面談)を行い、採択プロジェクトを決定する。
 - 採択者が推進協議会の会員でない場合は、推進協議会に入会いただき、実証の実施にあたり、コンソーシアムの組成が必要な場合は⑩コンソーシアムを組成し、刈谷市と⑪契約を締結し、⑫実証を実施する。契約は委託契約となり、実証事業完了後に本市から委託料を支払う。
 - 令和 5 年度は、5 件の課題を 1 件あたり上限 3 0 0 万円の予算で実証プロジェクトを募集する。
- 実証プロジェクトを募集する課題
 - ・ 令和 5 年度に実証プロジェクトを募集する各 5 課題の概要
 - 資料記載のとおりで、詳細は 4 月 5 日に本市の HP で公開する。
 - 4 月 2 1 日開催の第 1 回推進協議会で、担当課がプレゼンテーションを行う。
- 募集スケジュール等
 - ・ 募集スケジュール
 - 資料記載のとおり。応募を検討いただく場合はスケジュールを参考に検討を進めていただきたい。
 - 4 月 5 日の募集開始日には、課題解決型実証プロジェクトの募集要項及び募集する課題の詳細について、市の HP に掲載し募集を行う。
 - 募集要項や各課題についての質問は、メールにて 4 月 1 9 日まで受け付け、その間にいただいた質問への回答は個別に行わず、すべてまとめて 4 月 2 6 日に HP に掲載する。
 - なお、4 月 2 1 日開催の第 1 回推進協議会で課題についてのプレゼンテーションを行うため、その場でも質問を受け付ける。その質疑応答については、他の質問と合わせて 4 月 2 6 日に HP に回答を掲載する。
 - 企画提案書の提出締切は GW 明けの 5 月 1 2 日
 - 5 月から 6 月にかけて審査を行い、6 月下旬に候補者を決定。この候補者については、書面開催を予定しております第 2 回の推進協議会でお知らせする。

- その後、条件や予算等の協議を経て、正式採択は7月の中旬ごろ。
- 実証の実施は正式採択後の7月下旬から開始し、遅くとも翌年2月上旬までには実証を終えていただく
- 3月下旬に第3回の推進協議会を予定しておりますので、その前の3月上旬を完了報告の書類提出期限と考える。
- アイデア募集をするもの—その1、その2
 - ・ 本市の抱える課題についてアイデアの募集を行うもの7件記載した
 - 課題の解決に資するソリューションのアイデアのみを募集する。
 - ご提案いただいたアイデアで適当なものがあれば、その後、予算措置を行い、実証プロジェクトを実施する場合もある。
- 実証実験実施パターン
 - ・ 企業等が技術開発の一環として、刈谷市をフィールドとして実施する実証事業である「フィールド提供型実証」も含めて、パターンの違いを整理した。
 - ・ 課題解決型実証とアイデア募集は、毎年4月に課題を提示し、そのソリューションの募集を行う。
 - 課題解決型実証は1件当たり上限300万円の予算で実証プロジェクトを募集するため、募集要領に基づき決められた企画提案書を期限までに提出いただく必要がある。
 - 市の予算要求のスケジュールとして、例えば、令和6年度に実証を実施するには令和5年9月までに実施の判断を行い、予算額を決めていかなければならないことにご留意いただきたい。
 - ・ フィールド提供型実証については、特に募集時期や応募方法を定めるものではないが、会員の皆様が希望がある場合は、随時電話またはメールで企画政策課にご相談いただきたい。
 - ・ この実証実験実施パターンにないもので、会員企業様と個別に検討を進めている案件については、必要に応じて刈谷市で予算を確保して実証を実施していく。

議題3.に関する質疑応答

- 議題3の質疑応答について（企画財政部長）
 - ・ 課題の募集は、会員以外の企業から広く集めることからすると、HPへの掲載だけでは伝わらない面もあると思う。（刈谷商工会議所）
 - まずは公表して興味のある方に見てもらうこととしたい。さらに市内の中小企業へも周知できるよう、方法をご相談していきたい。（企画政策課長）
 - ・ 広く周知していくという意味では、提案のスケジュールについてもご相談の上でご協力させていただきたい。（刈谷商工会議所）
 - ・ 募集する課題の詳しい情報については、この後協議会から提示されるのか。（アイシン）
 - 会員の皆さまには、事前に情報提供をする形でお示ししている。4/5にはもう少し詳しい内容で主旨やストーリーを掲載していく。それをご覧いただいた上で提案をご検討いただきたい（企画政策課長）
 - 1件あたり上限300万円としているが、実証を終えてからのお支払いとなるため、お支払いの時期等をご承知おきいただきたい。（企画政策課長）
 - ・ 市の課題が40あって、HPの掲載件数について確認したい。（NTT西日本）

- 40 の課題が提出されて 5 件を選定した。その 5 件が HP に載る。（企画政策課長）
- アイデア募集の 7 件についても HP に掲載していく。（企画政策課長）

議題 4. その他について

- 次回の予定について（企画財政部長）
 - ・ 次回、令和 5 年度第 1 回の推進協議会は、4 月 21 日（金）午前 9 時 30 分から、刈谷市役所 7 階の大会議室での開催を予定している。
 - ・ 令和 5 年度の活動計画をお示しするとともに、本日ご提示した 5 件の課題について、担当課よりプレゼンテーションを行う。

閉会

- 閉会挨拶（会長）
 - ・ 本日は「第 3 回刈谷市スマートシティ推進協議会」にご参加いただき、感謝申し上げます
 - ・ 会議の中でいただいたご意見等は、今後の運営にいかしてまいります。
 - ・ 市内の中小企業において、雇用ができない課題感がある。人口減少に加え、テレワーク等により各地に雇用が生まれていることが原因であろう。
 - ・ 国も少子化対策をやっているが、お金と時間の余裕、もう 1 つ私の付け加えだが、将来への希望が少子化対策には必要と考えている。
 - ・ これからのまちづくりには、にぎわいをどう創出していくかが重要。
 - ・ 人口はどんどん減っていくので、定住人口を増やす努力は当然必要だが、人が集まって情報がつながってという場があって、初めてにぎわいのあるまちになる。にぎわいということを強調していきたいと思っているので、アイデアや技術を皆さんから提供していただきたい。
- （企画財政部長）
 - ・ 以上を持って終了する。

以上